


心機一転

柴田町立船迫中学校
1学年だより
H29. 6. 12 NO. 5

= 地区中総体 =

6月3日（土）・4日（日）の2日間にわたり、柴田地区中学校総合大会が行われました。各部ともに日頃の練習の成果を発揮していました。1年生は試合に出ている子も応援している子も、何をするにも一生懸命でした。また、3年生の最後まであきらめない、粘り強いプレーに、心を動かされた人も多かったことでしょう。今、自分の心の中に湧き上がっている熱い思いと感動を持ち続け、練習に励み、努力し続ける人が、1年後、2年後に栄冠を手に入れることになるでしょう。頑張れ、1年生。

団体	優勝	ソフトボール部（県大会出場） 卓球部（県大会出場）
	第3位	野球部 サッカー部 バスケットボール部 バレーボール部 ソフトテニス部 バドミントン部
個人	第2位	バドミントン部（県大会出場） 卓球部（県大会出場）
	第3位	卓球部（県大会出場）



地区陸上大会

今週末の6月16日（金）に、角田市の陸上競技場において、郡陸上大会が行われます。1年生からも選手が選ばれ、中総体終了後から短い期間ですが、放課後に陸上の練習に取り組んでいます。当日は選手以外の生徒も会場に行き、応援を行います。選手・応援生徒ともに精一杯の取り組みを期待しています。

※選手と応援生徒では、学校出発の時間が異なりますので、注意してください。

中総体

僕は、6月3日・4日に初めて中総体を経験しました。サッカー部は仙台大学で試合をしました。先輩たちは、この中総体の二日間のためにすごく練習を積んできたので、みんな真剣でした。僕は、今年の中総体で二つのことを学びました。一つ目が、一人一人の応援が力になるということです。船迫中より順位の良かった2チームは、どちらも応援に力が入っていました。ベンチには入れなかった人たちも、チームのために大きな声で応援していました。試合には出れなくても、みんなで戦っているチームが強いチームなんだと学びました。二つ目は、生活面がプレーに影響してくるということです。船迫中が船岡中に負けてしまった後のミーティングで、先生が生活面が良くないとプレーに影響すると言っていたことがすごく印象に残りました。どれだけ練習しても、本番に調子を乗せられないのは、生活面も原因があると思います。本番に強いチームは、日頃から生活面に気をつけ規則正しい生活を送り、練習を真剣に行えるから試合に強くなるんだと思いました。今年の中総体で学んだことを忘れずに、これから生かしていきたいと思います。僕は中総体には来年も出場することはできませんが、試合に出ている人を応援し、最大限のサポートができるように頑張りたいと思います。



中総体を振り返って…

中総体で学んだ大切なこと

私は、初めての中総体で学んだことが二つあります。一つ目は、声を出すことの大切さです。私は、大きい声は出せるけれど、人前で大声を張るのはとても苦手でした。でも、先輩方が「大丈夫。」と励ましてくれました。だから、私は大きい声で応援することができました。二つ目は、チームプレーの大切さです。私は、選手としてベンチには入っていましたが、コートの中には立てませんでした。そこで、戦っている相手チームのプレーを見ていると、お互いに声を掛け合って次の点をどう取るか話し合っていたりと、チームとしてのまとまりがしっかりしていました。そこで、私はチームプレーとはどうあるべきかと考えました。考えてみると、意外に簡単なことで、お互いの意見を尊重し合い一点一点丁寧に、そして1プレー1プレーに一喜一憂することだと思いました。来年、私は選手として試合に出れるようになると思います。声とチームプレーとチームワークを大切に頑張りたいと思います。



